

はしがき

覚える前に入試がやってくる

日本史受験で一番の悩みは、なんといっても「暗記」でしょう。もちろん、ともかく「暗記、暗記」と始めから暗記に走ってはかえって行き詰まります。しっかりと、着実に学習しなければならないことはいうまでもありません。しかし、実際には、日々の学習はなんとか終わって、そこそこ成績は伸びたが、暗記の壁にぶつかる。ともかく暗記しておくほかにはないという部分が残ってしまう。そこで、一通りの学習が終わったら、早めに暗記の訓練に取りかかることです。

時間切れ防止！

そこで、時間切れを防止すること。これが、この練習帳の第一の目標です。

まずは、

「誤字で泣かない日本史」で手を動かして語句を定着させ、

「ウソで固めた日本史」で、内容の正確な理解を確保し、

「書いてまとめる日本史」で短文論述の練習で知識を定着させたら、

いよいよ、細部の暗記をチェックする。それが、この「ともかく覚える日本史」で、暗記でつまづくテーマだけに絞ってあります。

繰り返すことが唯一の暗記対策！

このことを意識して、繰り返し本書を利用してください。ともかく回数です。一度はていねいにやってみてください。その時に、知らない語句が出てきたら無視してもかまいません。消してしまってもかまいません。慶応私大受験者はなんとかすべてを対象にがんばってみてください。知らない語句が出てきたらチェックしてください。もっと知っているというテーマがあったら本書に書き足して、暗記の範囲に入れていってください。そして、あとは、解答を繰り返し読んでください。

声に出して読む！ 音で答えが出てくる！

これが最終目標です。ともかく、声に出して繰り返す。理屈抜きに、それが一番です。残された時間を有効に使って、学力を得点に結びつける！
そのために、本書を利用してくだされば幸いです。がんばってください。

目次

1 古代

- 1-1 旧石器・縄文文化の遺跡……8
- 1-2 人類の進化……9
- 1-3 縄文土器の時期区分……9
- 1-4 黒曜石・硬玉の産出地……10
- 1-5 縄文晩期～弥生時代の遺跡……11
- 1-6 弥生土器の機能の区別……12
- 1-7 弥生時代の墓制……12
- 1-8 青銅器の分布……12
- 1-9 主要な古墳……13
- 1-10 倭の五王……14
- 1-11 渡来人……14
- 1-12 蘇我氏と三藏……15
- 1-13 古代の神社……15
- 1-14 冠位十二階……16
- 1-15 八色の姓……16
- 1-16 三経義疏……16
- 1-17 氏寺……17
- 1-18 伽藍配置の変遷……17
- 1-19 二官八省一台五衛府……18
- 1-20 五衛府……18
- 1-21 律令の地方行政組織……19
- 1-22 四等官制……19
- 1-23 畿内(五畿)……20
- 1-24 七道……20
- 1-25 三閩……21
- 1-26 律の五刑……21
- 1-27 五色の賤……21
- 1-28 戸籍……22
- 1-29 律令税制……22
- 1-30 平城京……23
- 1-31 皇朝(本朝)十二銭……23
- 1-32 遣唐使……24
- 1-33 南都七大寺……25
- 1-34 南都六宗……25
- 1-35 護国の教典……25
- 1-36 天下の三戒壇……26
- 1-37 風土記……26
- 1-38 平安京と寺院……27
- 1-39 都城の変遷……28
- 1-40 東北経営……29
- 1-41 令外官……30
- 1-42 令の注釈書と三代の格式……30
- 1-43 大学別曹……31
- 1-44 勅撰漢詩文集……31
- 1-45 六国史……32
- 1-46 仏像の製作技法……32
- 1-47 三筆……33
- 1-48 三階……33
- 1-49 平安貴族の生活……33
- 1-50 飛鳥文化……34
- 1-51 白鳳文化……34
- 1-52 天平文化……35
- 1-53 弘仁・貞観文化……36
- 1-54 国風文化……36
- 1-55 院政期の文化……37

2 中世

- 2-1 奥州藤原氏三代……38
- 2-2 治承・寿永の争乱……38
- 2-3 鎌倉幕府の組織……39
- 2-4 承久の乱……40

- 2-5 騎射三物……40
- 2-6 刀工……40
- 2-7 鎌倉新仏教の特徴……41
- 2-8 鎌倉新仏教……41
- 2-9 鎌倉旧仏教の改革……42
- 2-10 建武政権の組織……43
- 2-11 室町幕府の組織……43
- 2-12 三管領と四職……44
- 2-13 室町幕府の税……44
- 2-14 有力守護の反乱……45
- 2-15 三浦の乱……45
- 2-16 座と本所……46
- 2-17 特産品の発達……46
- 2-18 京都五山……47
- 2-19 鎌倉五山……47
- 2-20 有職故実……48
- 2-21 連歌……48
- 2-22 茶道……49
- 2-23 水墨画……49
- 2-24 戦国大名……50
- 2-25 分国法……51
- 2-26 中世の都市……52
- 2-27 貿易の品目……53
- 2-28 代表的な明銭……53
- 2-29 鎌倉文化①……54
- 2-30 鎌倉文化②……55
- 2-31 南北朝期の文化……56
- 2-32 北山文化……56
- 2-33 東山文化……57

3 近世

- 3-1 ヨーロッパ人の登場……58
- 3-2 鉄砲の国産地……58
- 3-3 南蛮貿易の拠点……59
- 3-4 南蛮貿易の品目……59
- 3-5 日本町……60
- 3-6 イエズス会の宣教師……61
- 3-7 五大老……61
- 3-8 五奉行……61
- 3-9 江戸幕府の組織……62
- 3-10 三奉行……63
- 3-11 三家……63
- 3-12 三卿……63
- 3-13 主要な大名……64
- 3-14 地方(村方)三役……65
- 3-15 農民の負担……65
- 3-16 町人の負担……65
- 3-17 水運の発達……66
- 3-18 五街道と問所……67
- 3-19 通信制度……67
- 3-20 三貨……68
- 3-21 三都……68
- 3-22 江戸の消防……68
- 3-23 卸売市場……68
- 3-24 四木三草……69
- 3-25 主要な鉱山……69
- 3-26 農具の発達……70
- 3-27 近世の特産品・名産品……71
- 3-28 三ヶ所・五ヶ所商人……72
- 3-29 四つの口……72
- 3-30 衣服……72
- 3-31 初期の「名君」……73
- 3-32 田沼期の専売制……73
- 3-33 寛政の三博士……73
- 3-34 江戸中期の名君……74
- 3-35 百姓一揆の類型……74
- 3-36 百姓一揆……75
- 3-37 後期藩政改革……75
- 3-38 藩学(藩校)……76

- 3-39 私塾……77
- 3-40 列強の接近……78
- 3-41 開国……79
- 3-42 安政の五ヶ国条約……79
- 3-43 幕末開港貿易……80
- 3-44 貿易額……80
- 3-45 貨幣改鋳……81
- 3-46 四国艦隊下関砲撃……81

- 3-47 桃山文化……82
- 3-48 寛永期の文化……82
- 3-49 元禄文化①……83
- 3-50 元禄文化②……84
- 3-51 化政文化①……85
- 3-52 化政文化②……86
- 3-53 化政文化③……87

4 近現代

- 4-1 明治政府の官制……88
- 4-2 三族籍……89
- 4-3 新貨条例……89
- 4-4 岩倉使節団……89
- 4-5 明治六年の政変……89
- 4-6 不平士族の反乱……90
- 4-7 地方行政制度の変遷……91
- 4-8 府県の数……91
- 4-9 激化事件……92
- 4-10 三大事件建白運動……93
- 4-11 弾圧立法……93
- 4-12 私擬憲法……93
- 4-13 華族令……94
- 4-14 大日本帝国憲法体制……94
- 4-15 近代的法典の成立……95
- 4-16 軍制の変遷……96
- 4-17 第1回衆議院議員選挙……96
- 4-18 初期議會……97
- 4-19 条約改正の経過……98
- 4-20 下関条約……99
- 4-21 列強の中国分割……100
- 4-22 北清事変……101
- 4-23 ポーツマス条約……101
- 4-24 日露国境の変遷……102
- 4-25 韓国併合の過程……103
- 4-26 政党の変遷……104

- 4-27 選挙法の変遷……104
- 4-28 官営事業の払下げ……105
- 4-29 財閥と持株会社……105
- 4-30 綿糸紡績業の発達……106
- 4-31 紡績業・製糸業の発達……106
- 4-32 輸出入品……107
- 4-33 工場労働者の増加……108
- 4-34 教派神道……108
- 4-35 欧化主義と国家主義……109
- 4-36 お雇い外国人……110
- 4-37 明治期の新聞……111
- 4-38 明治期の雑誌……112
- 4-39 大正・昭和期の雑誌……113
- 4-40 私立大学……113
- 4-41 三国協商と三国同盟……114
- 4-42 封華二十一条……114
- 4-43 パリ講和会議・ワシントン会議……115
- 4-44 協調外交……116
- 4-45 五大銀行……116
- 4-46 三大財閥……117
- 4-47 金輸出の禁止・解禁・再禁止……117
- 4-48 満州事変……118
- 4-49 新興財閥……119
- 4-50 日中戦争要因……120
- 4-51 アジア・太平洋戦争……121
- 4-52 戦争処理会議……122

- 4-53 占領行政機構……123
- 4-54 五大改革指令……123
- 4-55 労働三法……124
- 4-56 農地改革……124
- 4-57 政党の復活……125
- 4-58 国際連合常任理事国……125
- 4-59 日本国憲法の3原則……125
- 4-60 サンフランシスコ講和会議……126
- 4-61 エネルギー転換……126
- 4-62 円・ドル相場……127
- 4-63 戦後の経済復興……127
- 4-64 三種の神器・新三種の神器……128
- 4-65 四大公害訴訟……128
- 4-66 啓蒙思想、西欧思想……129
- 4-67 自然科学研究……129
- 4-68 人文科学研究……130
- 4-69 明治時代の文学……130
- 4-70 明治時代の美術……131
- 4-71 明治末～昭和戦前期の文学……132
- 4-72 大正～昭和戦前期の美術……132
- 4-73 戦後の文学……133
- 4-74 ノーベル賞……133

1-43 大学別曹

次の①～④の各有力氏族が設置した大学別曹の名称を答えなさい。

- ① 和気氏 ② 藤原氏 ③ 橘氏 ④ 在原氏

- ①弘文院
②勸学院
③学館院
④英学院

ポイント

「文章経国」の思想を背景とし、漢詩文の能力が出世のための条件となったことを理解する。そして、最大の大学別曹といえば、もちろん藤原氏の②。

1-44 勅撰漢詩文集

次の①～③の勅撰漢詩文集の名称を答えなさい。

- ① 嵯峨天皇の814年成立。小野岑守らの撰。
② 嵯峨天皇の818年成立。藤原冬嗣・菅原清公らの撰。
③ 淳和天皇の827年成立。良岑安世の撰。

- ① 淡雲集
② 文章秀麗集
③ 経国集

ポイント

嵯峨天皇がその中心であったことは間違いないが、③は淳和天皇であること。難関大に備えて、その編者にも注意しておこう。漢詩文集として頻出の『性霊集』は弟子たちがまとめた空海の著作集で勅撰集ではないことに注意。